

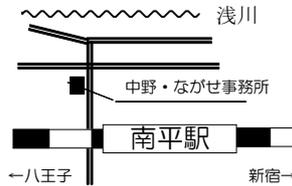


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと・ながせ真由美事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野・ながせ事務所

https://midoritoseiryu.skr.jp

本年もよろしくお願ひいたします

迎春



中野あきと、ながせ真由美事務所

中野あきとさんからパトタッチ

ながせ (長瀬) 真由美さん



▲早朝の高幡不動駅前
ながせ真由美さんと中野あきと市議

大型幹線道路に30億円かけるより 切実な暮らしの声に応えるときです

ながせ真由美

学校給食無償化を求める 運動に参加して

昨年、1月から日野市でも小学校の給食が無償となりました。私は教育費で悩んできた経験から「学校給食無償を求める日野市民の会」の運動に参加し、皆でスーパー前や公園、地域で署名を集めました。

多くの方から「子供たちにたくさん給食を食べてもらいたい」と声を寄せていただきましたが、請願は与党3会派によって採択されず、悔しい思いもしました。

それでも私たちはあきらめず運動を続け、清水とし子都議、共産党市議団が議会でも繰り返し取り上げ、論戦を重ね、実現することができました。

市民の声で動いた政治

この運動を通じて私は、「市民の声で政治は動かせる」こと、そして皆さんの「誰もが大切にされてほしい」という願いが社会を動かす力になることを実感しました。

中野あきと市議から後を引き継ぎ、今度は私が皆さんの願いを政治に届け、市政で応えていきたいと思っています。

市民の暮らしが大変 市独自の物価高騰対策を

今、物価高騰で暮らしの悲鳴が上がっています。

ところが、市民の暮らしに最も身近な日野市から市独自の物価高騰対策が全く出てきません。

それどころか、市長と自民、公明、維新、連合系・立憲民主党の賛成で子育て世代を支えてきた高校生の奨学金を廃止してしまいました。

一方で、「財政難を理由」に休止していた大型幹線道路、3・4・24号線(旭ヶ丘〜西平山間、440メートル)の整備を「30億円超」かけて再開する方針を打ち出しました。しかしできたところで西は行き止まり。東は区画整理の途中です。

今、30億円もかけて造る必要があるでしょうか？

それよりも今、やるべきことは物価高騰から市民の暮らしを守ることに、子どもたちの権利を守り応援することだと思っています。

私は30億円の幹線道路の整備再開にストップをかけ、皆さんの暮らし、子育ての願い実現に全力を尽くします。

私の政策は裏面の下をご覧ください。実現のために頑張っています。どうぞよろしくお願ひします。



ながせLINE公式



傾斜地住宅街の市有地 見通しが悪く危険 雑草の除去を



▶現地を視察する
中野市議と
ながせ真由美さん

中野あきと、ながせ真由美事務所、南平の住人から「市有地の斜面に伸びた雑草や枯れ木が放置され危険、除去してほしい」との要望がありました。

中野あきと市議とながせ真由美さんは現地を視察。住民の話では、道路がカーブしており、延び放題の雑草などで自動車や人が見えにくく、交通事故の危険もあるとのこと。さっそく日野市に申し入れ除去されました。

短信

杖を使い始めたら手放せなくなった。足腰が衰え道路の僅かな凹凸も気になる。市内は舗装が劣化し、荒れた道路が目立つ。転んで負傷し警察官に保護された知人の話。他人事ではなくなった▼以前、道路補修予算が1500万円と聞いてのけぞった。これが人口十数万人の市の予算か。道路課は「寝てる」と言っているに等しい▼在職中、不採算部門と言われた職場にいた。労働組合は御用化し、社内は「自己責任論」が吹き荒れていた。腕と勤たよりの手づくり製品は、社外では名機と呼ばれたが、儲けが薄いと冷や飯ばかり食わされてきた。道路課も同じ憂き目にあっていったのだから▼

「これでいいのか道路補修予算」。共産党市議団は執念で挑んだ。議会の度に連続質問。4800万円、7000万円と予算は上昇、来年度は年間1億2千万円に増額される▼他に類例を見ない日野市の3度もの「財政非常事態宣言」は雨漏りの学校を生み出し、生活道路を置き去りにしてきた▼その「非常事態」なるものも、与党議員の求めによって出されたものだろうか。だからなのだろう。市民提出の「請願」を、ろくすっぽ意見も述べずに与党会派が「不採択」にするのは▼「生き道道路の補修も福祉だ」という党市議の追及を知り、心をゆすられた職員もいると聞く。コソコソと荒れた道路を突く杖の音を聞きながら、「おい道路屋がなれば」とエールを送りたくなった。(K)

中野あきと市議最後の一般質問

これからの市政に求められること
税金の使い方はこれでいいのか

昨年12月2日、表題の趣旨で最後の一般質問を行いました。

それぞれの課題に、いかに向き合うべきかを提起しながら質問しました。担当部長からは次のように切実な実態と予算面での課題などが明らかにされました。

「介護の現場では人材不足が大きな課題。介護事業所等の経営改善及び賃上げが求められる」「障がいのある方の親亡き後の問題などへの対応が求められている」「(学校施設の老朽化や雨漏りについて)学校からの施設要望も多数受け、必要な予算が不足する事態となっている」「(ミニバス等について)運転手不足の問題があり、公共交通の維持・拡充が非常に困難になっている」

以上の答弁を踏まえ、市長が「野心的に推進したい」としている都市計画道路3・4・24号線の建設には少なくとも30億円以上の予算が必要になることを指摘。いまは市民の暮らしを支える施策への支援に全力を上げるべきではないかと古賀壮志市長に迫りました。



ながせ真由美さんを心から推薦します

中野あきと市議のあとを引き継ぐ、ながせ真由美さん。就職氷河期世代で、何十社受けても採用してもらえない。やっと採用にこぎつけても非正規雇用のままでした。離婚後はシングルマザーとして娘を育ててきました。

コロナの時、物価高騰の時に、真っ先にそのしわ寄せを受けた多くの女性たちの一人です。「いま苦しいのはがんばりが足りないからだ」とする「自己責任」という風潮に、押しつぶされそうになる中で、日本共産党と出会いました。「声を上げれば政治は変わる」「個人の尊厳を守る、多様性が尊重される社会を」という日本共産党の訴えに共感し、入党しました。

日野市の学校給食無償化の署名運動にも参加し、昨年1月に実現、「市民の声で政治は変えられる」と確信しました。



いま、あらゆる差別と貧困をなくし、誰もがその人らしく暮らせる街をつつていきたいと、市政に挑戦します。ぜひ、みなさんのお力で押し上げてください。

都議会議員 清水 とし子

これに対し市長は、「長期的なまちづくりを考えたり(3)・4・24号線を優先すべき」「財政非常事態宣言を解除したい、1日も早く工事を再開し、開通を目指すというのが私の使命であるとさえ考えている」と答弁しました。
しかし税金の使い方はこれでいいのでしょうか。政権の無策によって物価の高騰は止む気配がありません。今後の日野市政のあり方が問われる問題です。来月、行われる政治戦の重大な争点にしなければならぬと考えます。



▲左から、清水とし子都議、山添拓参院議員、ながせ真由美さん、中野あきと市議、窪田之喜弁護士

会場いっぱい参加
ながせ真由美
演説会

昨年暮れの12月21日、平山交流センターのホールでながせ真由美活動地域の演説会が行われ、80人を超す市民が参加しました。

午前中NHKの国会討論会に参加した山添拓参議院議員も駆けつけ、ながせさんを激励しました。



【無料法律相談日】2026年 2月

■ 12日(木) 午後1時～3時 市役所6階共産党控室

〈申し込み〉わたなべ・清水事務所 042-582-1042



平山6丁目急傾斜地
ほぼ完了した
崩落防止工事

市政これできがんばりたい

ながせ(長瀬) 真由美

■物価高騰から暮らしを守る

- ◎国民健康保険税の引き下げ (維新の国保 逃れを許さない)
- ◎下水道の基本使用料(1232円)の無償化
- ◎市独自に1人5000円の生活支援金給付
- ◎公共工事・委託事業等の賃上げ支援

■ミニバス・公共交通の維持・拡充

- ◎ミニバス平山循環路線の増便(30分間隔)

- ◎ワゴンタクシー平山ルートの維持・土日運行
- ◎南平5丁目など交通空白地域への公共交通の導入

■教育・子育て支援に全力

- ◎小中学校の雨漏りの早期改修
- ◎月1万円の高校生奨学金の復活・充実
- ◎修学旅行費など教育費の負担軽減・無償化
- ◎夏休みの給食提供

- ◎不登校支援・特別支援教育の充実

■高齢者の暮らし応援と安心の介護

- ◎補聴器購入費の補助額の引き上げ 現物支給・所得制限の撤廃
- ◎駅前・バス停・まち中へベンチの設置
- ◎さわやか健康体操の拡充 (3年卒業制度の撤廃)
- ◎特養ホームなど介護施設の拡充・介護負担の軽減